

## Edward Vickers先生の特別寄稿について

宮腰 英一

東北大学大学院教育学研究科

この度、ロンドン大学IOEのヴィッカーズ先生から、「日本人学生の外国語能力向上に関する所見」と題し特別寄稿を頂きました。この中で、先生は2007～2008年度の2ヶ年にわたって、教育学部・教育学研究科で「比較教育学」の授業を担当した経験から、英語を母語としない日本人学生の英語力向上に繋がるいくつかの提案を行っています。アカデミック英語の向上のために、優れた留学生との交流、日本語以外の学位コースの設定、大学入学以前の外国語教育や大学入試の見直し、スピーキング・スキルの重視などが提案され、さらに英語のみならず漢字文化圏として中国語の学習も奨励されています。また、本務を離れて2ヶ月も派遣されるということは現状では極めて難しく、費用負担と共に解決すべき課題となっている点が指摘されています。

教育学研究科では、学術交流協定校のロンドン大学教員の英語による専門科目授業（アカデミック英語）の開講を、教育・研究の一層の国際化を推進するための重点達成目標としています。本稿はこの企画の改善にむけて示唆に富む提言となっています。